

さいたま市長メッセージ（令和3年3月9日）

皆さん、こんにちは。さいたま市長の清水勇人です。

政府は、緊急事態宣言の期間を3月21日まで再延長しました。

これまで、営業時間の短縮や不要不急の外出の自粛、成人式のリモート開催、市民利用施設の原則休館など、市民や事業者の皆様には大変なご負担をお掛けしてまいりました。しかしながら、感染防止に真摯に取り組んでいた皆様には、大変厳しい結果となったと受け止めています。

残念ながら、本市を含む埼玉県は、新規陽性者数や療養者数が、完全に下がりきっていない状況です。

本市では、3月7日までの1週間で2,529件の検査を実施し、120名の新規陽性者が確認されました。また、7日時点で市内の全療養者数は257名となり、前の週と比べ減少しています。一方で、新規陽性者数が、やや増加しており、昨年末と同様、感染者が大幅に拡大することが懸念されています。

なんとしても、今回の延長期間中に新規の陽性者を減少させ、再度の緊急事態宣言延長とならないようにしなければなりません。

日々、新型コロナウイルス感染症と戦っている、医療、介護、福祉の現場の皆様や、長期間にわたり営業自粛を求められている飲食店等の皆様など、大変なご苦勞をされている方たちを思いやり、ぜひ、自分のこととして捉えていただきたいと思っております。

日常を取り戻すために、この2週間は大変重要な期間です。これまでの

みなさま どりよく む だ
皆様の努力を無駄にしないためにも、
ひと ひと こうどう
一つ一つの行動について、
あらた みなお
改めて見直し
ねが
をお願いいたします。